２０２６年１１月２日
日本銀行札幌支店

北海道金融経済概況

２０２６年１０月

＜本件に関するお問い合わせ先＞
日本銀行札幌支店 営業課（電話011-241-5232）
ホームページアドレス　https://www3.boj.or.jp/sapporo/

〈当店ホームページ〉

全体感

北海道の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。

すなわち、**公共投資**は、緩やかに増加している。**個人消費**は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、堅調に推移している。**設備投資**は、緩やかに増加している。**輸出**は、横ばい圏内の動きとなっている。**住宅投資**は、弱めの動きとなっている。**生産**は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

項目別判断の前回との比較

		前 回	今 回	変化
総括判断		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。	→
需要項目	公共投資	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。	→
	輸出	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。	→
	設備投資	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。	→
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。	→
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。	→
生産		横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。	横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。	→
雇用・所得		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。	→

総括判断の推移

	公表日	前回比	総括判断
2024年10月	10/25日	→	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している
11月	11/22日	→	同上
12月	12/13日	→	同上
2025年1月	1/29日	→	同上
2月	2/28日	→	同上
3月	4/1日	→	同上
4月	4/24日	→	同上
5月	5/28日	→	同上
6月	7/1日	→	同上
7月	7/25日	→	同上
8月	会見なし	(→)	(同上)
9月	10/1日	↘	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している
10月	10/31日	→	同上
11月	11/28日	→	同上
12月	会見なし	(→)	(同上)
2026年1月	1/16日	→	同上
2月	3/2日	→	同上
3月	4/1日	→	同上
4月	5/1日	→	同上
5月	6/2日	→	同上
6月	7/1日	→	同上
7月	8/3日	→	同上
8月	会見なし	(→)	(同上)
9月	10/1日	→	同上
10月	11/2日	→	同上

各　論

１．需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

設備投資は、緩やかに増加している。

９月短観（北海道地区）における2026年度の設備投資は、高水準ながら前年を下回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、堅調に推移している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。サービス消費は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに増加している。

観光は、堅調に推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は、弱めの動きとなっている。分譲は、横ばい圏内の動きとなっている。

２．生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

３．雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

４．物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、３％台前半のプラスとなっている。

５．企業倒産

企業倒産は、横ばい圏内の動きとなっている。

６．金融情勢

預金残高は、前年を下回っている。

貸出残高は、前年を上回っている。

貸出金利は、上昇傾向にある。